

NBR Times

(株)日本バイオリサーチセンターの「今」を発信する、コミュニケーションマガジン

NBR バイオ

Q 検索

<https://www.nbr.co.jp/> September 2020



天空の茶畑

見どころ情報

・暑い夏だから、涼しい水の話

「水の都」大垣市

・大賀ハス

弊社社員による川柳

○読者プレゼント

○編集後記

○NBR Study Navi

vol.031

「水の都」大垣市

ムーンライトながらの終着駅「大垣」。弊社がある岐阜県羽島市の西に大垣市は位置しています。大垣市は昔から豊富な水資源のため水の都とよばれてきました。暑い時期なので、今回は、大垣市の水にまつわる話題をお届けします。

● 自噴水って知っていますか？

大垣には、「自噴水」と呼ばれるこんこんと水が湧き出る場所が市内の至る場所にあります。大垣市内には、公園、神社の境内、企業の敷地内、ホテルの駐車場等、様々なところに自噴水があります。どの自噴水も昼夜問わず、勢いよく湧き出ており、なんと24時間無料で開放されています。一年を通して水の温度は12～14℃。冷たくて1分も手を入れていただけません。地下から湧き上がる水はとても清潔で美味しく、たくさんの方が水を汲みに集まってきました。

大垣の自噴水は、清浄な水質、豊富な水量、掘りやすさの三拍子がそろっており、このような完全無欠な自噴帯は世界的にみても珍しいのだそうです。かつてはどの家庭にも自噴水があり、24時間流しっぱなしの水槽で野菜を洗ったり果物を冷やしたりしていたそうです。しかし、高度経済成長期とともに工業用水に利用されるようになり、一時期は地下水の水圧が低下しました。最近では企業の工場撤退などにより地下水の利用量が減ってきたため、改めて整備された自噴水が増えてきました（大垣市史より）。

筆者も10年前にこの地に引っ越してきたとき、市内のいたる所にある東屋のような建物はなんだろうと不思議に思いました。のちに、その東屋の中は無料で湧き水を汲める場所と知り、大変驚きました。それ以降、自噴水巡りをして、水汲みを楽しんでいます。この水で作るコーヒーやウイスキーの水割りはとっても美味しいんですよ！



加賀野八幡神社井戸

大垣の自噴水を代表するもので、環境省の『平成の名水百選』にも選ばれています。国道21号とJR東海道線に挟まれた田園地帯にあり、深さ136mから清らかな地下水がこんこんと湧き出ています。



大垣駅前『水都の泉』

平成30年に完成した最新の自噴水です。大垣駅のすぐ目の前にあり、地下210メートルから地下水が湧き出ています。暑い日にはびしょ濡れになった子供たちの笑顔で溢れます。



大垣フォーラムホテル『幸福の泉』

大垣フォーラムは大垣の東玄関口に位置します。ホテルが地域活動の一環として敷地内に再現した自噴水です。毎分2トンの清冽な地下水が地下147mから勢いよく湧き上がります。大垣の自噴水の中で一番の水量だそうです。



株式会社イビコン『創造の泉』

株式会社イビコンの創業50周年記念事業として、ひろがり「夢」広場の中に掘削された自噴水です。平成22年5月に設置されました。深さは148m。住宅街の中であり、地域の人にはもちろん、遠方から水を汲みに来る人にも親しまれています。



北方町がま広場

昔からこの地域では、地下水が自然に湧き出し「泉」ができたところを「がま（河間）」と呼んでいます。大垣市北方町の「がま」は市内で唯一、当時の姿のまま残ったもので、水文化を伝える貴重な資料として、地主の協力のもと保存されています。河間の中では鯉が泳いでいます。



● なぜ大垣は自噴水がたくさんあるの？

大垣に自噴水が多いのは水が豊富だからなのでしょう。それは大垣の地下には巨大な水盆があるためです。大垣の地下では揖斐川水系の水も入ってきますが、それだけではなく、地表の川の流れとは違って、長良川、木曽川の水も大量に流れてくるのです(図1)。大垣の地質は堆積層ですが、養老山の裾野では700m下の岩盤の上に泥と砂利が厚く堆積しています。この層を網の目のように縫って木曽三川(揖斐川、長良川、木曽川)の水が大垣の地下に流れ込んできているのです。大垣を通過した水の流れは養老山脈の岩盤にぶつかって、行く手を遮られています。そのため、大垣の地下では水盆の状態となり、自噴井水に恵まれる環境となったのです。木曽三川の水が集中するのですから、その水圧は大変なエネルギーだそうです。(参考文献:西美濃わが街 6月号、2003年)

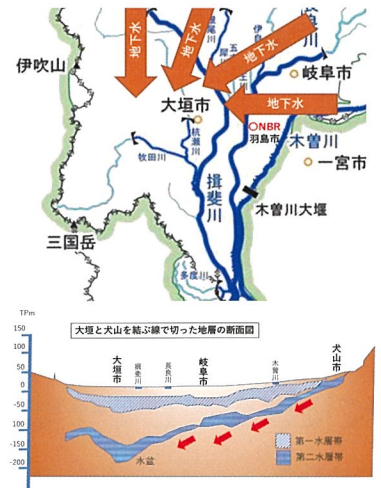


図1 川の流れと地下水流れ

● 自噴水で冷やす「水まんじゅう」

ゴールデンウィークが近づく頃、大垣の街に水まんじゅうの旗がはためき始めます。和菓子屋さんの店頭には井戸舟を模した水槽が置かれ、一個ずつお猪口(おちょこ)に入ったまんじゅうは冷たい自噴水で冷やされます。お客さんが注文すると目の前でまんじゅうを陶器から取り出してくれます。そんな見ているだけでも涼しくなる水まんじゅうは言わずと知れた大垣の夏の風物詩です(残念ながら今年はCOVID-19の影響で井戸舟での販売はないそうです)。

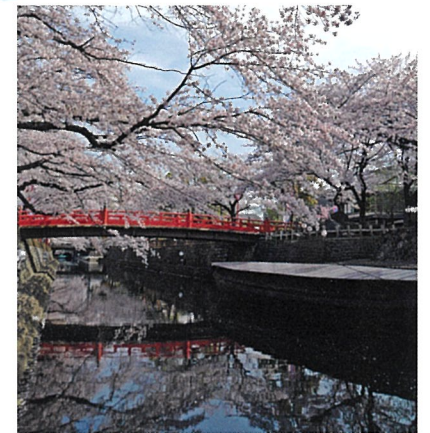


金蝶園総本家(創業寛政10年)の水まんじゅう

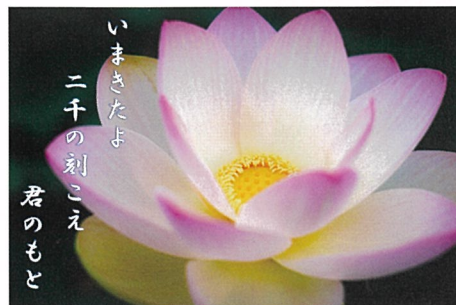
● 奥の細道むすびの地

松尾芭蕉が東北・北陸地方をめぐる「奥の細道」の旅を終えた地が大垣です。たまたま旅が終わったのが大垣なんでは?と聞いていませんか。いえいえ、違うんです!大垣には早くから芭蕉の俳風を受け入れた親しい友人や門人たちの存在があったため、旅の最初からむすびの地は大垣と決めていたそうです。

NBRから近い大垣。きっと日本国内を移動する際、通過される人は多いはず。近くを通られる際は、是非お立ちください。それほど派手な街ではありませんが(笑)、落ち着いて楽しむことができる街だと思います。美味しい湧き水と水まんじゅう、そして芭蕉の息吹があなたを待っています!



水門側の船町港跡



いまきたよ 二千の刻こえ 君のもと

弊社社員がこの風景を眺めて二句、詠みました。

(羽島市HP一部改)

昭和26年に故大賀一郎博士が千葉県の縄文遺跡発掘現場から発見した3粒のハスの種子のうち、1粒が発芽し花咲かせました。当時、2000年前の世界最古のハスの種子の開花は世界の話を集めました。羽島市の大賀ハスは、当市が古くからレンコンの産地であることから、昭和54年に千葉市より譲り受けたものです。青い空の下、縄文人も見ていた古代の夢とロマンを感じさせる薄紅色の花が今年も咲きました。

羽島市

大賀ハス園



大賀ハス

読者
プレゼント

高級

ごはんのお供に最適！

「鮎茶漬け」と
「天然鮎魚醬のXO醬」の
セットをプレゼント!!

鵜飼で有名な長良川から、おしゃれな鮎料理をお取り寄せ。鮎の旨みをぎゅっと濃縮した2種類の「ごはんのお供」を瓶に詰め、高級感あふれる木箱に納めた逸品です。

「鮎茶漬け」は、鮎の塩焼きのほぐし身を天然鮎魚醬と太白ごま油でしっとりと仕上げました。贅沢にお茶漬けとして楽しんで頂けるほか、各種オードブル等のトッピングに最適!

「天然鮎魚醬のXO醬」は、干し貝柱、金華ハム、干しエビを、天然鮎魚醬とごま油で仕上げた自家製XO醬。強烈な旨味を存分にご賞味ください。

今回は、高級「鮎茶漬けと天然鮎魚醬のXO醬」をセットでプレゼントします。

ご当地グルメでちょっぴり旅気分を味わって、豊かなおうち時間を過ごしましょう。



応募方法

弊社HPからご応募ください。
<https://www.nbr.co.jp/>

締め切り

2020年11月末

長良川伝統の味『泉屋物産店』
<http://nagaragawa.shop-pro.jp/>

NBR Study Navi

最新のNaviはHPでもご覧いただけます。
ご不明点等、どんなことでもお気軽にお問い合わせください♪

NBR Study Navi 第47号

短期で評価可能な試験

今回は、試験開始から報告まで比較的短い期間で終了できる試験リストを紹介します。

NBR Study Navi 第46号

神経変性疾患 —in vivo中枢神経系につなげるin vitro試験—

神経変性疾患は中枢神経系に発症し、特定の神経細胞群の減少や神経細胞の内外に頻繁に発現する線維状物質の蓄積を特徴としています。現在ではアルツハイマー病 (AD)、パーキンソン病 (PD)、ハンチントン病 (HD)、筋委縮性側索硬化症 (ALS) など、複数の神経変性疾患の特徴となっている神経死や、機能不全の主な要因と考えられています。その中でも今回はパーキンソン病とアルツハイマー病について、in vitro (Cell Based Assay) での評価系を確立しました。併せて対となるin vivoモデルもご紹介します。

NBR Study Navi 第45号

NBRの安全性試験のご紹介

弊社では、医薬品、医療機器、再生医療等製品ならびに食品等の安全性試験を実施しています。今回はミニプタ試験の実績、再生医療領域の試験などをご紹介します。

●表紙の写真 天空の茶畑



Location: 岐阜県揖斐川町

地元の方の手作り地図を手に、汗ばみながら20分ほど山を登ると、新緑に染まる茶畑の絶景が一面に広がります。

南米ペルーのマチュピチュのように高山に浮かんでいるように見えることから、「岐阜のマチュピチュ」とも呼ばれています。

下山後は冷えた緑茶をごちそうになりました。夏の茶畑でいただく冷茶は格別でした。

編集後記

コロナ禍に酷暑、豪雨と災害が続く昨今、明るく涼しくなるような話題を提供出来ればと思い、今号を発刊しました。弊社近くの「大垣市」を紹介しています。また弊社、社員による「川柳」も記載しています。NBR Timesに触れ少しでもリフレッシュしていただければ幸いです。今後ともご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



弊社は、HS財団動物実験認定施設です

株式会社日本バイオリサーチセンター

<https://www.nbr.co.jp/>〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
TEL 058-392-6222(代表) FAX 058-392-2432